

# 日本ピューリタニズム学会

## 2020 年度 関西研究会

開催日時：11月7日（土）15:30 - 17:30

会場：Zoom による遠隔開催

発表者：衣笠太朗（秀明大学）

タイトル：「第一次世界大戦後のオーバーシュレージエン／グルヌイシロンスクにおける分離主義運動——カトリック人民党（中央党）との関係を中心に」

司会：圓月勝博（同志社大学）

### 〈報告要旨〉

第一次世界大戦直後のドイツ語でオーバーシュレージエン、ポーランド語でグルヌイシロンスクと呼ばれる地域では、ドイツと近隣諸国との領域問題も絡んで、様々な勢力が割拠する状態にあった。こうした中で、それらいずれの国家からも独立するという政治的目標を持った分離主義運動は注目に値する。当該運動は、「オーバーシュレージエン自由国」の建国を「オーバーシュレージエン民族」の自決権のもとで成し遂げるという興味深いプログラムを持っていたからである。一方、カトリック人民党は、当地の中央党組織であったものが、ドイツ系住民とポーランド系住民の双方に配慮する形で 1918 年 12 月に改名したものである。同党は、この地域の政治的主導権を握っており、その動向が地域の帰趨を左右するものであった。本報告では、分離主義運動の歴史的展開の一端を、このカトリック人民党との関係から明らかにしていく。